

感染症情報 3月5日～11日

府下小児科200医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1020例(堺市	42例)
②溶連菌感染症	398例(堺市	28例)
③RSウイルス感染症	116例(堺市	5例)
④みずぼうそう	81例(堺市	0例)
⑤突発性発疹	62例(堺市	4例)

府下インフルエンザ定点306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 3086例(堺市 234例)

が報告された。

感染症報告数は前週比0.4%減の1,788件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、RSウイルス感染症、みずぼうそう、突発性発疹の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より2%増、堺市では前週より19%減であった。溶連菌感染症は府下で前週より13%減、堺市で前週31例→今回28例で10%減であった。RSウイルス感染症は府下で前週比6%増、堺市で前週8例→今回5例であった。みずぼうそうは府下で前週が44例→今回81例で84%増、堺市では前週1例→今回0例であった。

インフルエンザは府下で前週4603例→今回3086例で33%減、堺市では前週390例→今回234例で40%減となった。定点当たりでは前週が15.1で、今回は10.1であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。